

19日 木板に微小な穴

2次元コードに

立命館大の研究グループ

立命館大学の道関隆国

教授らの研究グループ

は、直径1ミリの程度の微

小な穴を用いた2次元コ

ードを開発した。紙など

に印刷して利用するQR

コードなどの2次元コー

ドは、劣化して読み込め

なくなることがある。今

回のコードはコンクリー

ト、木板、金属板などに

直接埋め込むことができ

き、半永久的に使用でき

るといふ。

5ミリの角に微小穴が空

いた「セル」と穴のない

「セル」を0、1で判別

し、コードを表現する。

微小穴をカメラで撮影す

ると、光の影で穴を黒い

点として認識する仕組み

を応用した。

木板、金属板はドリル

で穴を開ければよく、コ

ンクリートでも生乾きの

状態ならば3Dプリンタ

ーなどで作成した剣山の

ようなスタンプでコード

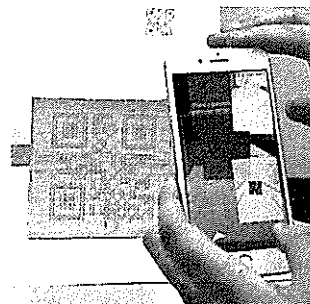
を埋め込めるといふ。

19日 23期 社会 A



青鉛筆

スマートフォンをかざして、データを入力できる2次元コード。従



トなどに埋め込む技術が確立した。

立命館大理工学部の道関隆国教授らのグループが発表した。コードは、素材に開けた直径1ミリの深さ5ミリの穴の集まりで、その影を認識させて読み取る。

観光地の案内板などで使うことを想定しており、「目立たず景観に配慮できる」と道関教授。観光客がスマホをかざす新しい人気スポットが生まれるかも。